

「一帯一路」建設における科学技術革新協力の 推進についての特定計画

目 次

一、重要な意義を深く認識する

- (一) 時代背景
- (二) 重要な意義

二、全体的要求を正確に把握する

- (一) 指導思想
- (二) 基本原則
- (三) 戦略目標

三、重点任務を明確にする

- (一) 科学技術のコミュニケーションを密にし、人的・文化的交流を深化させる
- (二) プラットフォームの構築を強化し、技術移転を推進する
- (三) 重大工程の建設を支援し、科学技術資源の相互接続を促進する
- (四) 特色あるパークを共同建設し、企業の革新・起業を奨励する
- (五) 基盤技術に焦点を当て、協力研究を強化する

四、重点分野を明確にする

- (一) 農業
- (二) エネルギー
- (三) 交通
- (四) 情報通信
- (五) 資源
- (六) 環境
- (七) 海洋

- (八) 先進的製造業
- (九) 新材料
- (十) 宇宙航空
- (十一) 医薬品・健康
- (十二) 防災減災

五、体制メカニズムを改善する

- (一) 政府間の科学技術革新協力を強化する
- (二) 企業の革新における主体的役割を発揮させる
- (三) 各地の科学技術革新協力での優位性を発揮させる
- (四) 協同革新を促進する
- (五) 民間機関の役割を発揮させる
- (六) 国内の政策的環境を最適化する

六、支援の取り組みを強化する

- (一) 財政支援の取り組みを強化する
- (二) 科学技術の支援レベルを引き上げる
- (三) 人材支援を強化する
- (四) 戦略研究を強化する
- (五) 科学技術金融協力を深化させる

七、組織と実施を強化する

- (一) 組織指導を強化する
- (二) 分業協力を強化する
- (三) 監督検査と評価をしっかりと行う

「シルクロード経済ベルト」と「21世紀海上シルクロード」（以下、「一帯一路」と略称）の建設推進は中国政府が時代の特徴とグローバル情勢に基づいて提起した重大な呼びかけであり、沿線各国の経済的繁栄と地域での経済協力を促進し、異なる文明の交流と相互参照を強化し、世界の平和発展を促進する上で、いずれも画期的で重大な意義をもつ。

「シルクロード経済ベルトと21世紀海上シルクロードの共同建設推進の願いと行動」を徹底実施し、「一帯一路」建設の中での科学技術革新のリーダー的役割・サポート的役割を発揮させるために、『「一帯一路」建設における科学技術革新協力の推進についての特定計画』を特別に制定する。

一、重要な意義を深く認識する

（一）時代背景

現在、新たな科学技術革命と産業の変革が世界の経済構造と競争局面を再構築しつつある。グローバル化、情報化、ネットワーク化が深いレベルで発展する背景の下、革新の要素のもつ開放性、流動性が著しく増強され、科学技術の研究と産業化との境界が日に日にあいまいになり、科学技術は世界における普及と拡散とを加速させ、グローバル経済が1つの緊密に連携した総合体となり、科学技術による経済社会発展の促進が国際的な共通認識となることを推進している。グローバル経済と革新局面を掘り下げて調整するには、中国が「一帯一路」建設において科学技術革新協力を力強く推進することが必要になる。同時に、革新が駆動する発展戦略を実施し、経済社会のモデル転換・バージョンアップを推進することが中国の発展における必然的な選択になる。中国が直面する経済発展の難題を解決するには、産業の技術レベルの引き下げが早急に必要となる。「一帯一路」における科学技術革新協力の推進は中国が世界情勢や国内情勢の変化に対応し、開放を拡大し、革新が駆動する発展戦略を実施する上での重大なニーズである。

中国と沿線諸国は「一帯一路」における科学技術革新協力をめぐって良好なチャンスを迎えている。第一に中国と多くの沿線国家とは発展段階が似ており、発展におけるニーズと条件に共通点があり、発展ルートの選択において共通認識に達することが容易だ。中国が蓄積した大量の先進的な適正技術と科学技術人材は、沿線諸国に参考にする意義のある発展経験を提供することが可能だ。第二に科学技術革新は沿線諸国と国際協力を展開する中で先行組の優位性を有しており、すでに政策をめぐるコミュニケーション（溝通）、施設の共有（聯通）、貿易の開通（暢通）、資金の自在な流れ（融通）、民心の通い合い（相通）の重要な支えとなっている。第三に科学技術革新は「一帯一路」建設の支援においてすでに積極的な役割を果たしており、また優れた成果を獲得している。中国は沿線諸国の大多数と安定した政府間の科学技術革新協力関係を樹立し、沿線諸国と一連の科学研究協力、技術移転、資源共有のプラットフォームを共同建設し、各種の技術研修クラスを幅広く開催し、沿線諸国の傑出した大勢の青年科学者の中国での活動を受け入れている。

(二) 重要な意義

科学技術革新協力は「一帯一路」における人的・文化的交流の重要な構成要素であり、民心の通い合いを促進する有効なルートである。科学技術協力を通じて、人々の生活に恩恵をもたらすことが、国家同士のコミュニケーションと民心の通い合いを結ぶ架け橋になる。科学技術協力のモデル効果と普及効果が良好であれば、協力の中で中国に対する理解と相互信頼を増強するのにプラスになる。

科学技術革新協力は「一帯一路」の共同建設の重要なコンテンツであり、中国と沿線諸国との協力レベルを引き上げる際の重点分野である。沿線諸国に比べ、中国の科学技術革新は資源が豊富で、設備製造、宇宙空間、農業、防災・減災、生命科学・健康、エネルギー環境、気候変動などの分野で形成された技術的優位性は、国際協力の段階を引き上げるのにプラスになる。科学技術協力の深化は、科学技術革新の優位性を発揮させ、昔からある伝統産業の「優位性のある生産能力」に基づく協力から科学技術による「新しい生産能力」に基づく協力への転換を推進するのにプラスになる。

科学技術革新協力は中国が「一帯一路」の重大工程プロジェクトの順調な実施を推進する上での技術的保障である。科学技術革新は「一帯一路」建設の中で重要な先導的役割を担い、「一帯一路」の重大工程建設の中での技術上のボトルネックの打破、工程の質の引き上げ、ブランド樹立などに力強い支援の保障を提供する。

二、全体的要求を正確に把握する

(一) 指導思想

平和・協力、開放・包摂、相互学習・相互参照、相互利益・ウィンウィンの理念をしっかりともち、「一帯一路」共同建設に対する科学技術革新協力のサポート的役割・リーダー的役割を全面的に発揮させることを主軸として、戦略的相互信頼を増強し、共同发展を促進することを方向性とし、科学技術革新協力の段階とレベルを全面的に引き上げ、政策をめぐるコミュニケーション（溝通）、施設の共有（聯通）、貿易の開通（暢通）、資金の自在な流れ（融通）、民心の通い合い（相通）を推進し、発展理念が疎通し（相通）、要素の流動がスムーズで（暢通）、科学技術施設が共有され（聯通）、革新チェーンが自在に流れ（融通）、人材交流が順調に行われる（順通）革新の共同体を構築し、「一帯一路」建設の新局面を切り開くための有力な支援を提供する。

(二) 基本原則

共同建設・共に享受する、相互利益・ウィンウィン。沿線諸国の発展ニーズを十分に尊重し、沿線諸国の発展戦略に積極的に結びつき、「一帯一路」における科学技術革新協力で共同で参加し、科学技術成果と科学技術発展の経験を共に享受し、利益共同体と運命共同体を構築し、持続可能な発展と共同繁栄を促進する。

人が中心、相互信頼の増進。「一帯一路」建設における科学技術人材の重要な中核的役割を突出させ、人材交流によって科学技術革新協力を深化させ、科学技術人材の積極性と

創造性をかき立て、協力を深化させるためにしっかりとした人材面の基礎を固める。

施策を分類し、重点に焦点を合わせる。戦略の重点に焦点を合わせ、秩序をもって推進し、方向性を明らかにした科学技術革新協力政策を制定・実施し、パワーを集中させて飛躍を達成し、モデル効果・牽引効果を生み出す。

改革・革新、国内外を統一的に計画。体制・メカニズムの改革・革新を加速的に推進し、沿線諸国の科学技術管理機関、社会機関の運営メカニズムとの結びつきを強化し、国内・海外の2つの市場、2つの資源を統一的に計画・利用し、分業協力、歩調の一致、共同推進に基づく作業の局面を形成する。

政府が誘導し、市場が主導する。重大協力活動の中での政府の誘導的役割を十分に発揮させ、資源配分の中での市場の決定的役割と科学技術革新協力の中での各種企業の主体的役割を発揮させる。

(三) 戦略目標

短期的目標。3～5年の時間をかけて、基礎固めをし、局面を打開する。科学技術人材の交流協力が大幅に高まり、中国で交流（研修）する科学技術人材がのべ150,000人以上に達し、中国で活動する傑出した青年科学者の人数が5,000人以上に達するようにする。科学技術革新協力を深化させ、革新が駆動する発展の道を共に歩むことについて沿線諸国と幅広い共通認識を形成し、重点国家とともに協力計画、実施プランを基本的に作成し、また協力覚書または協力合意に調印する。一連の共同実験室（共同研究センター）、技術移転センター、技術モデル普及推進基地、科学技術パークなどの国際科学技術革新協力プラットフォームを構築し、企業が沿線諸国においていくつかの研究開発センターを設立することを奨励し、重点プロジェクトの実施が第一段階の成果を挙げるようにする。

中期的目標。10年前後の時間をかけて、重点が飛躍を遂げ、実質的な推進を達成する。周辺諸国を基盤とし、より大きな範囲を対象とする共同革新ネットワークの建設が第一段階の成果を挙げ、「一带一路」沿線諸国の科学技術人材を引き寄せる良好な環境を創出し、重点科学技術インフラ建設、共同実験室（共同研究センター）、プラットフォームのネットワーク建設などが投入され使用されて成果を発揮し、重大科学技術協力プロジェクトが重要な成果をあげ、重点産業の技術協力に推進された国際産業分業システムが基本的に形成され、「一带一路」の革新共同体建設が緩やかに推進されるようにする。

長期的目標。今世紀中頃までに、「一带一路」の両方の翼がそろって羽ばたき、全面的に成果を収めるようにする。科学技術革新協力の「五通」推進の目標が全面的に達成され、「一带一路」の革新共同体が構築され、相互学習・相互参照、互惠・ウィンウィンに向けた地域の協同革新の局面が形成される。

三、重点任务を明確にする

沿線諸国の科学技術革新協力のニーズに合わせて、科学技術の人的・文化的な交流・協力を密にし、協力プラットフォームの建設を強化し、インフラの相互連携を促進し、協力

の研究を強化し、地域の革新協力局面を徐々に形成する。

(一) 科学技術コミュニケーションを緊密に行い、人的・文化的交流を深化させる

科学技術の人的・文化的交流を深化させ、科学技術界の相互信頼と理解を増進することは、「一带一路」の科学技術革新協力を推進する上での基礎であり、沿線諸国が人的・文化的交流活動を持続的に展開する上での中核でもある。沿線諸国と協力して科学技術人材を共同育成し、傑出した青年科学者の中国での活動計画の規模を拡大し、一連のさまざまなタイプの研修センターと研修基地を設立し、先進的な適正技術、科学技術の管理と政策、科学技術の評価、科学技術による起業などの研修を幅広く展開する。国際科学技術特派員計画を実施し、科学技術のボランティアサービスを展開し、技術的問題を解決し、技術的ニーズに対応する。協力によって科学普及活動を展開し、青少年の科学普及に向けた交流を促進する。

科学技術革新政策をめぐるコミュニケーションを強化し、沿線諸国が政策力の構築を進めるのを支援する。沿線諸国と共同で科学技術革新計画の編成、科学技術革新政策の制定、国家革新システムの構築などを積極的に展開し、重大科学技術活動の共同評価の展開を推進し、科学技術革新政策の協同ネットワークを構築する。

多層的な科学技術人的・文化的交流プラットフォームを構築する。ボアオアジアフォーラム、中国-ASEAN 博覧会、中国-アジア・欧州博覧会、中国-南アジア博覧会、中国-アラブ諸国博覧会、中国-ロシア博覧会、中国西部国際博覧会などのプラットフォームを十分に利用し、ASEAN、南アジア、アラブ諸国との国際技術移転・革新協力大会、中国-中東欧諸国革新技術協力・国際技術移転シンポジウムといった科学技術革新協力プラットフォームを引き続き構築する。

(二) プラットフォームの構築を強化し、技術移転を推進する

一連の国家共同実験室（共同研究センター）を共同で設立する。沿線諸国の重大科学技術へのニーズに合わせて、中国の科学研究機関、大学、企業と沿線諸国の関連機関との協力を奨励し、重点分野をめぐって共同実験室（共同研究センター）を共同設立し、高水準の科学研究を共同で推進し、科学技術人材の交流と研修を展開し、適正技術の移転と成果の転化を促進し、長期的で安定した協力関係を構築し、沿線諸国の科学技術力を引き上げる。

一連の技術移転センターを共同で設立する。中国と ASEAN、東アジア、南アジア、アラブ諸国の技術移転センターなどの役割を十分に発揮させ、技術移転の共同ネットワークと情報連結プラットフォームの構築をさらに改善し、各技術移転センターが国際技術移転サービス連盟を構築することを奨励し、先進的な適正技術の移転を共同で推進し、中国の科学技術、人材、情報などの資源と沿線諸国のニーズとの結びつきを強化し、産学研協力を深化させる。

一連の先進的な適正技術のモデル・普及基地を共同設立する。沿線諸国の技術的ニーズに合わせて、中国の科学研究機関、大学、企業が重点分野の先進的な適正技術を積極的に

普及させることを奨励する。

(三) 重大工程の建設を支援し、科学技術資源の相互接続を促進する

科学技術は鉄道、道路の相互運用性をサポートし、特殊な環境・条件の下での鉄道・道路建設、技術設備などの適応性についての重要技術を飛躍させ、技術基準のマッチングを強化する。沿岸の重点港湾を連結点として、環境、水文気象、海洋などの関連データモニタリングネットワークを構築し、港湾、水上ルートの建設、輸送支援保障システムなどの重要技術を飛躍させる。

超高圧・スマート電力網技術をよりどころとして、沿線諸国の電力網の建設・バージョンアップを支援し、電力網建設の相互接続を加速させる。情報通信ネットワークの相互接続を支援し、国境を越えた陸上ケーブル、大陸間海底ケーブル、通信ネットワークなどの建設をめぐる重要技術の攻略戦を展開し、データ共有プラットフォームと情報サービス施設の建設を加速させ、科学データ資源の高速伝送、関連融合、サービス共有を実現させる。

科学研究の機器・施設、科学研究データ、科学技術の文献、生物遺伝資源などの科学技術資源の相互接続を促進する。さきに海外の試行地点に向けて開放し共有するとした大型の研究インフラを基礎とし、データ、文献などの科学技術資源の共有を推進する。総合的な地球観測システムと科学データ共有サービスプラットフォームを構築し、アジア・太平洋の主要な地球観測データセンターの相互接続を実現させる。バイオ技術情報ネットワークを構築し、バイオ資源・技術成果データバンクの共同建設・共有を実現させる。

(四) 特色あるパークを共同建設し、企業の革新・起業を奨励する

一連の特色が鮮明な科学技術パークを共同建設し、中国のハイテクパーク、自主革新モデルパーク、農業科学技術パーク、海洋科学技術産業パーク、環境保護産業パーク、グリーン建材産業パークなどが沿線諸国と主体的に結びつくよう誘導する。実力ある企業と沿線諸国が科学技術パークを共同建設し、多元的な建設モデルを模索することを奨励する。

科学技術型企業の沿線諸国での革新・起業を奨励する。一連の国際的競争力を備えた多国籍革新型企業を育成し、新業態と新ビジネスモデルでの相互利益に基づく協力を促進する。条件を満たした企業が科学技術力の高い沿線諸国に研究開発センターを設立し、知的財産権の保護・利用を強化し、産業がバリューチェーンの中間や上部へ上昇するよう促進することを奨励する。

(五) 基盤技術に焦点を当て、協力研究を強化する

沿線諸国が経済社会の発展の中で直面する重要基盤技術の問題に焦点を当て、協力研究を強化する。基礎研究の分野において、高エネルギー物理、生物物理、生態気候、天体観測、極端な天候・気候、氷雪地帯と気候変動との関係、地球の総合的観測などの重大科学問題での協力研究を展開する。共通の課題への対応の面では、その重点は生態環境、エネルギーの安全保障、人口と健康、食糧の安全保障、自然災害、文化遺産の保護・伝承などの分野で共同の攻略戦を展開し、国際科学技術機関や関連の地域レベル機関の積極的な参加を奨励することにある。

四、重点分野を明確にする

(一) 農業

沿線諸国と作物の遺伝資源の共同収集・共有を広範囲に展開し、イネ、タマネギ、小麦、綿花、アブラナ、野菜といった大口の作物、ゴム、バナナ、タピオカ、林木、家畜・家禽、水産物などの特色ある作物の遺伝資源の開発生産と新品種の選別育成・普及を共同で展開する。農業の有害生物のモニタリング警告とグリーン予防コントロール技術、農業の気象災害のモニタリング警告と調整コントロール技術、重大な越境性動物疾病の警告および予防減少技術の共同研究と普及応用を共同で展開し、農業情勢情報のモニタリング・共有システム、重要農産品のリスクモニタリング・評価技術システムを協力して構築する。高効率の節水・省エネ農業、海洋農業、施設栽培、有機廃棄物の综合利用などの技術と農業機械設備の共同開発とモデル事業を積極的に展開し、環境にやさしく気候にスマートに対応できる農業発展モデルを普及させる。高効率の農産品深加工技術での協力と普及応用を強化し、ハラル食品の研究開発・迅速な検査測定技術システムの建設を加速させる。

(二) エネルギー

沿線諸国の実際の状況に合致した太陽エネルギー、バイオマスエネルギー、風力エネルギー、海洋エネルギー、水力エネルギーなどの再生可能資源、石炭・石油・天然ガスなどの伝統的エネルギーの高効率利用技術の研究開発とモデル事業の普及・協力を強化し、重点産業の省エネ・汚染物質排出削減の先進的適正技術の普及応用を強化する。第3世代炉、第4世代炉の原子力発電技術を積極的に普及させる。省エネ技術、エネルギー設備と重要部品の共同での研究開発・生産を強化する。海外の石油・天然ガス資源への投資、リスク調査、開発協力を強化する。状況を踏まえた最適な複数のエネルギーによる相互補完、冷却熱電併給(CCHP)の分布式・地域レベルの新型エネルギーシステムを協力して構築する。エネルギー効率の標準マークをめぐる協力を展開し、さまざまな形式のエネルギーの相互接続を研究し、安全で効率がよくスマートな未来のエネルギーシステムを構築する。

(三) 交通

沿線諸国の科学技術をめぐる人的・文化的環境と汎ユーラシアの相互連携ニーズに適した高速鉄道ユニットとその運行の安全保障技術の協力研究を重点的に強化し、劣悪な環境での交通インフラの建設・メンテナンス、先進的スマート交通システム、交通安全の監督管理と緊急時の救助、交通における省エネ・汚染物質排出削減と環境保護などの技術・設備の研究を強化し、相互に接続する交通インフラネットワークと便利で効率の高い越境国際物流サービスシステムを構築する。沿線の港湾情報の相互接続を促進し、国際グリーン港湾ターミナル建設の重要技術での協力を深化させる。新エネルギー自動車とその重要な基盤技術の協力開発を積極的に推進する。

(四) 情報通信

ビッグデータ、クラウドコンピューティング、IoT(モノのインターネット)、スマートシティなどの分野における協力と応用を共同で展開し、情報セキュリティ技術の開発を強

化し、文化・娯楽消費市場、ラジオ・テレビ事業向けのデジタルメディアコンテンツ処理の重要技術を協力して開発する。次世代移動通信技術の研究開発とネットワーク計画を共同で展開する。越境 EC の共同革新研究開発協力を展開し、モバイルインターネットに基づいた消費者群の識別の重要技術とモバイル決済技術の開発を推進する。

(五) 資源

鉱物、生物などの資源の探査開発と総合利用を強化する。工業における固体廃棄物と再生可能資源の総合利用技術の革新に向けた協力を強化し、産業技術のモデル事業を共同で展開する。鉱山資源の高効率開発技術をめぐる協力を推進し、グリーンな鉱業発展技術のモデル事業を展開する。水資源の総合計画、海水の利用、水の循環利用、飲用水の安全などの技術のモデル事業を推進する。沿線諸国の生物資源の保護・開発の水準を協力して引き上げる。

(六) 環境

生態環境の科学的調査を強化し、沿線諸国と協力して生態環境の特定テーマ研究および地域レベルの生態環境問題の長期モニタリングとリモートセンシングによる調査を展開し、立体的な生態環境の科学的観測網を構築する。「一帯一路」の環境モニタリング警告緊急対応システムを構築し、地域の環境・生態の環境収容力の分析を強化し、生態環境の保護、気候変動への対応、砂漠化対策、気象の予報警告、重度汚染産業のクリーン生産、環境保護技術・設備などでの協力による研究開発とモデル事業を展開し各方面が共同で参加し、共同で利益を受ける生態環境保護プロジェクトを実施し、低炭素エコシティの建設・応用・モデル事業を展開し、グリーンシルクロードの建設を推進する。「世界の第三極」の総合的観測を引き続き推進し、高原地域の生態システム変化の地球的な影響の研究を深化させる。

(七) 海洋

海洋協力のプラットフォーム建設を強化し、海洋環境の観測技術での協力を推進し、海洋島の生物の多様性、沿岸域の海岸侵食、海洋エネルギー環境、海洋気象、海洋観測衛星などの科学的観測・データの共有を展開する。海洋資源の科学的調査を展開し、海洋の石油・天然ガス及び鉱物の探査開発、海洋工程設備の製造、海洋島動態モニタリング、複数のエネルギーによる相互補完、海洋災害のモニタリング警告・保障サービスなどの重要技術の研究開発と応用を推進する。

(八) 先進的製造業

沿線諸国と協力して先端設備の研究開発と産業化に向けた応用を展開し、重大インフラの建設を支援する。グリーン加工産業、再製造の重要技術の研究開発と産業化に向けた応用を促進する。自動車、鉄道車両、船舶などの交通設備の設計・研究開発を展開する。

(九) 新材料

高品質の特殊鋼などの重点基礎材料の産業化に向けた重要技術、高性能膜材料、第三代半導体、ナノ材料、オプトエレクトロニクス材料、グリーン省エネ建築材料などの先進

材料製造技術をめぐる協力研究開発を共同で展開する。耐熱合金、高性能複合材料、海洋工程材料、新型機能・スマート材料などの技術・製品の共同攻略戦を推進する。

(十) 宇宙航空

地球観測、ゼネラル・アビエーション、深宇宙探査、再使用などの宇宙航空技術の共同研究と産業化に向けた応用を展開する。ナビゲーション、地球観測、通信が一体化した航空宇宙情報総合サービスプラットフォームの構築を推進し、多国間の総合的な地球観測、ナビゲーション、位置サービス、宇宙航空機のリアルタイム監視コントロールでの協力を展開する。

(十一) 医薬品・健康

沿線諸国の特色ある製薬材料と伝統的医薬品の発掘と協力研究開発を強化し、伝統的薬物の遺伝資源バンクと標準化システムを構築し、中国医薬の伝承の革新を推進し、中国医薬の養生保健、未病の治療といった伝統的医療技術の応用を推進し、中国医薬（その他の民族的医薬を含む）の健康文化の伝播を促進し、付加価値の高い伝統的薬物、化学薬品、バイオ薬品などの協力研究開発と産業化を展開する。遺伝子検査の応用といった新技術を積極的に普及させ、地域的な重点疾病の予防治療コントロールでの協力を強化し、いくつかの重大疾病の予防・診断・治療の重要技術を攻略し、公共の衛生を脅かす突発的事件を協力して処理する能力を引き上げる。新型薬物の研究開発、国際的臨床研究などを共同で展開し、先進的医療機器の共同開発と普及応用を強化し、モバイル健康・デジタル医療サービスを普及させる。

(十二) 防災減災

気象の探査測定、活断層の探査測定、地震の安全性評価、構造物の地震被害予測といった技術の普及を展開し、大陸での大型地震のメカニズムを研究する。海洋災害、極端な天候・気候、地質災害、水害干害などのデータの共有、技術と経験の普及を強化する。災害のリスク管理能力と緊急時の処理能力の構築を強化し、先進的で適正な災害救助製品・ツールを研究開発し普及応用させ、地域の共同災害救助活動メカニズムを構築する。災害後の復興・再建能力の構築を強化し、災害後の復興・再建のデザイン、疾病対策、通信・交通・建設などの技術の応用普及とモデル事業を展開する。

五、体制メカニズムを改善する

(一) 政府間の科学技術革新協力を強化する

二国間・多国間の政府間科学技術革新協力及び対話メカニズムを構築し充実させる。一連の科学技術革新協力プロジェクトを主体的に設計する。国際科学技術機関の役割を十分に発揮させ、国際科学技術機関と「一带一路」の重大な科学技術の問題と共同発展の課題をめぐって協力を展開することを奨励する。地方政府と沿線諸国または沿線地域がそれぞれ特色ある科学技術革新の協力・交流を展開するよう誘導し推進する。

（二）企業の革新における主体的役割を發揮させる

企業が「一帯一路」での科学技術革新協力における投資、執行、収益の主体となり、基幹企業が先導・牽引し、中小企業が大規模に参加する協力局面を形成し、また社会的パワーの参加を呼び込むよう誘導する。企業が海外研究開発センターを設立することを奨励する。

（三）各地の科学技術革新協力での優位性を發揮させる

地方が科学技術革新協力の面で形成してきた基礎的優位性を發揮させ、それぞれに特色を備えた地方の協力メカニズムを模索し構築する。国境地帯の省・自治区・直轄市が地理的優位性を十分に發揮し、人材交流、共同の課題への対応、科学技術インフラの共有（聯通）などの面で最前線の役割を果たすようにする。後背地の省・自治区・直轄市が戦略的支援の役割を發揮し、技術移転、研究開発機関や科学技術パークの共同設立などを重点的に展開するようにする。

（四）協同革新を促進する

中央と地方の多層的な革新主体間の協同を強化し、各種の革新主体が沿線諸国において革新プラットフォームを共同構築し、産学研協力を深化させるよう誘導する。直面する発展の共通課題をめぐる、重大プロジェクトでの協力研究開発メカニズムを構築し、重要技術分野での協力をめぐる国際技術移転メカニズムを構築し、さまざまな国家の革新主体が優位点によって相互に補い合うことを基礎として協同革新を展開するよう促進する。

（五）民間機関の役割を發揮させる

民間の科学技術機関の「一帯一路」の科学技術革新協力の中での重要な役割を十分に發揮させ、民間の科学技術革新協力交流を促進し、民間の科学技術機関の協力ネットワークプラットフォームを構築する。青年の交流、ボランティアの派遣、学術的往来・交流などの方法を通じて、民間の科学技術交流の内容が豊富になるよう奨励する。民間の科学技術機関が各種の科学技術をめぐる公益活動を広範囲に展開するよう奨励する。

（六）国内の政策的環境を最適化する

部門間の協力を強化し、国内の科学研究経費管理制度の改革、及び国内の科学研究機関と大学の評価制度の改革を推進し、科学研究人材が沿線諸国の科学技術革新協力に参加することを支援する。

六、支援の取り組みを強化する

（一）財政支援の取り組みを強化する

中央政府の財政予算からの投資を拡大し、既存の科学技術計画・プロジェクトとの連携や統一的計画を強化し、「一帯一路科学技術革新協力」を重点的に支援する。地方が投資を拡大し、対応するプロジェクト資金を設立して「一帯一路」の科学技術革新協力を支援するよう奨励する。多元的な投資システムを構築し、官民パートナーシップ（PPP）など多様な方法を通じて企業、科学研究機関、大学などが投資を拡大するよう誘導する。

(二) 科学技術の支援レベルを引き上げる

科学技術の支援規模を拡大し、関連する沿線諸国への支援の取り組みを拡大する。支援の方法を改善し、先進的な適正技術と科学技術管理の研修を積極的に展開し、沿線諸国が科学技術革新政策と発展計画を制定するのを支援し、共同実験室（共同研究センター）、科学技術パークなどの科学技術協力プラットフォームを支援し設立し、優れた科学者を育成し、沿線諸国の科学技術革新力の構築を強化する。

(三) 人材支援を強化する

科学技術人材の往来の円滑化を促進し、国際交流を推進し、双方向・相互作用の人材システムを構築する。科学技術人材と金融資本とのマッチングを促進し、「一帯一路」に向けた大衆による起業、大衆による革新を推進する。沿線諸国に駐在する大使館・領事館の役割を十分に発揮させる。科学技術管理幹部チームの研修の取り組みを拡大し、科学技術管理の国際的能力を引き上げる。

(四) 戦略研究を強化する

科学技術革新協力の戦略研究を強化し、科学技術人材シンクタンクを構築する。科学技術シンクタンクの評価・方針決定におけるコンサルティングの役割を積極的に発揮させ、「一帯一路」の科学技術革新協力の重点方向に的を絞って長期的な追跡研究を展開し、科学技術革新協力の研究報告を定期的に発表する。

(五) 科学技術金融協力を深化させる

中国の各種金融機関と科学技術仲介サービス機関が協力し、沿線諸国の地域レベルでの科学技術の金融サービスプラットフォームと投融资メカニズムを構築する。アジアインフラ投資銀行（AIIB）、新開発銀行（BRICS 銀行）、シルクロード基金などの金融機関との協力を強化し、沿線諸国に向けた科学技術インフラ建設と重大科学技術攻略プロジェクトを重点的に支援する。

七、組織と実施を強化する

(一) 組織指導を強化する

科学技術部、国家発展改革委員会、外交部、商務部が共同で牽引役となり、当計画実施にあたっての統一的計画と調整に責任を負い、実施プランを制定し、各種の任務と対応する政策を分担して実施し、各種任務の全面的な実施を推進する。年度ごとの活動推進会議メカニズムを構築し、科学技術革新協力プロジェクトと関連の政策などを研究・提起または調整し、次の段階の活動計画を制定する。

(二) 分業協力を強化する

各部門はそれぞれの職責を担い、それぞれの責任を果たし、協力と調整を強化し、計画が制定した関連の任務を細分化して実施し、具体的な行動計画を制定しなければならない。各地方は現地の実際状況に合わせて、特殊が鮮明で、それぞれに重点のある科学技術革新協力を積極的に展開しなければならない。科学研究機関、大学、企業はそれぞれの優位

性を発揮して、科学技術革新協力を主体的に展開しなければならない。各種の科学技術仲介機関は協調推進の役割を発揮し、宣伝と組織を強化し、良好な協力ムードを醸成しなくてはならない。海外駐在の大使館・領事館は協力の動態を追跡し、情報のやりとりを密にし、中国の科学技術革新協力の展開に支援を提供しなければならない。

(三) 監督検査と評価をしっかりと行う

監督検査業務制度を構築し、プランと作業計画を策定し、計画の実施、政策の実施、プロジェクトの建設状況について監督検査を展開し、問題があれば速やかに解決する。追跡評価を強化し、計画を調整し、政策を改善するための意見や提案を適時提出する。